

# 全国ネット通信

Vol.14  
2014  
春号

平成26年4月1日発行

## IPCC第2作業部会第5次評価報告書 政策決定者向け要約の公表報告

独立行政法人国立環境研究所  
社会環境システム研究センター 室長 肱岡 靖明



気候変動に関する政府間パネル(IPCC: Intergovernmental Panel on Climate Change)第2作業部会第10回会合が、平成26年3月25日～29日に横浜市で開催され、IPCC第2作業部会第5次評価報告書の政策決定者向け要約(SPM: Summary for Policymakers)<sup>1)</sup>が30日の午後3時過ぎに承認され、31日前に公表されました。

IPCC総会が日本において開催されたのは今回が初めてです。約110か国の代表、世界気象機関(WMO)、国連環境計画(UNEP)等の国際機関等から計約400名が出席しました<sup>2)</sup>。

この第二作業部会は、気候変動が社会経済および自然システムにもたらす影響とその適応オプション、および脆弱性などについて評価しています。

報告書は30章から構成され、それらは大きく二つ(Part A: 全球・分野別評価、Part B: 地域別評価)に分類されます。報告書は1200名以上の推薦者から選ばれた243名の執筆者と66名の査読編集者によって執筆されました。日本からは3名の統括執筆責任者、5名の代表執筆者、3名の査読編集者が参加しています。

今回の報告書では、第四次評価報告書後に得られた新たな知見から、①観測された影響・脆弱性・暴露およびすでに実施されている適応(分野別、地域別)、②将来リスクと適応の機会、③リスクマネジメントと強靭な社会の構築、について示されています。概要を以下に記します<sup>2)</sup>。

### <概要>

①観測された影響・脆弱性・暴露およびすでに実施されている適応  
【観測された影響・脆弱性・暴露】過去数十年において、全大陸と海洋の自然および人間システムにおいて気候変動の影響が現れており、特に、自然システムへの影響が顕著かつ包括的に現れている。

【適応の経験】適応は一部の計画プロセスに組み込まれつつあるが、実施されているものは非常に限定的である。

【意思決定状況】気候変動に関連するリスクへ対応していくことは、その影響の深刻さや発生時期について引き続き不確実性が存在することや、適応の有効性の限界がある中で、変わりつつある世界において意思決定を行っていくことである。

### ②将来リスクと適応の機会

【広範囲な分野や地域における主要なリスク】国連気候変動枠組条約第2条に記載されている「気候システムに対する危険な人為的干渉」による深刻な影響の可能性がある主要な8

つのリスクを整理し、それらを次の5つの「懸念の理由」に統合することで、気候システムに対する危険な人為的干渉を評価するための出発点を提供した。

【分野別・地域別のリスクと適応の可能性】分野別および地域別のリスクと適応の可能性についても整理されており、地域別の主なリスクに関しては、現状、近未来(2030-2040)および21世紀末(2080-2100)の2°Cおよび4°C気温上昇下におけるリスクと適応の効果が示された。

### ③リスクマネジメントと強靭な社会の構築

気候変動によるリスクの管理には、将来の世代、経済、環境への関連事項も含んだ適応と緩和の決定を含むものであり、効果的な適応を実施するための重要な要素や、気候に対して強靭な経路と変革を導くために何が必要であるかについてまとめられている。

今回の第二作業部会の第五次評価報告書では、SREX(気候変動への適応推進に向けた極端現象及び災害のリスク管理に関する特別報告書)でとりまとめられたリスクマネジメントの考え方を発展させている点や、緩和策と適応策の効果を統合的に評価している点など、対策(緩和策と適応策)の推進に向けて科学的知見が整理されています。来年夏に予定されている我が国の政府全体の適応計画の策定が待ち遠しいところです。

1) IPCC (2014) Summary for Policymakers. In: Climate Change 2014: Impacts, Adaptation and Vulnerability. Contribution of Working Group II to the Fourth Assessment Report of the Intergovernmental Panel on Climate Change, [http://ipcc-wg2.gov/AR5/images/uploads/IPCC\\_WG2AR5\\_SPM\\_Approved.pdf](http://ipcc-wg2.gov/AR5/images/uploads/IPCC_WG2AR5_SPM_Approved.pdf)

2) 文部科学省、経済産業省、気象庁、環境省(2014)、第2作業部会報告書政策決定者向け要約(SPM)の概要、  
[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/houdou/26/03/attach/1346284.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/26/03/attach/1346284.htm)



# 家庭から減らそう！家庭エコ診断制度始まる！

2014年4月から「家庭エコ診断制度」がスタートしました。

この家庭エコ診断制度は、家庭における省エネルギー及び省CO<sub>2</sub>を目的として創設されました。省エネルギーの重要性について"気づき"、"知っていただく"観点から、一層の省エネルギーにつながる非常に有効な制度です。

診断実施機関あるいはうちエコ診断士の立場で制度にご参加いただき、低炭素ライフスタイル構築の一翼を担って下さい。また、診断事業実施者には診断費用の1/2を補助する事業もスタートします。

## 診断実施機関になるには

家庭エコ診断制度全体の運営を管理する制度運営事務局(当法人)による認定が必要です。

4月下旬から募集を開始します。5月中旬を目処に決定します。

## うちエコ診断士になるには

一次試験(筆記試験)と二次試験(実技試験)に合格した方を資格試験運営事務局(当法人)がうちエコ診断士として認定します。その後、お住まいの地域の診断実施機関に登録して下さい。

- ・昨年度、うちエコ診断員として認定を受けた方の更新研修会は5月中に開催します。(参加要件有)
- ・新規の方を対象とする資格試験は8月上旬～9月上旬を予定しています。

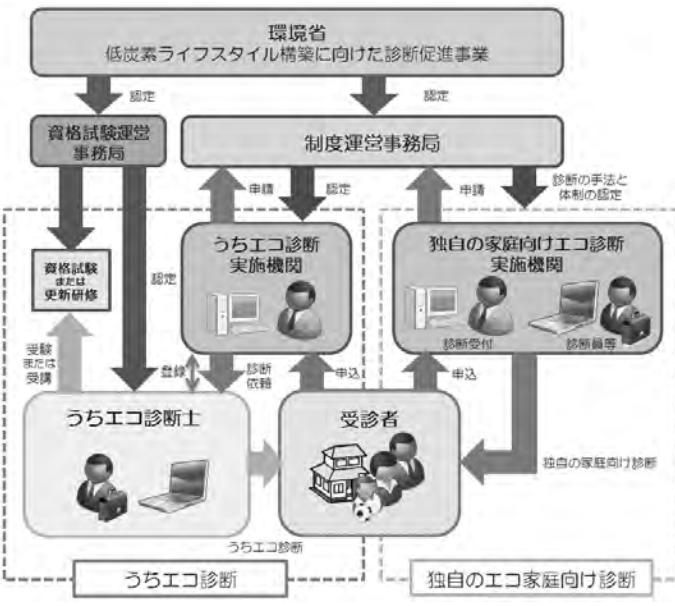


図 うちエコ診断における各主体の認定イメージ

詳細は家庭エコ診断ポータルサイトで公開しています。 <http://www.uchieco-shindan.go.jp/2014/>

# IPCCリポートコミュニケーター始動！

環境省は去る3月26日、記者発表を行い「IPCCリポート コミュニケーター」事業を正式にスタートいたしました。

「IPCCリポート コミュニケーター」は、IPCC第5次評価報告書(AR5)の最新情報を、国民に向けて正しく伝える役割を持ちます。セミナーや番組など、コミュニケーション自らのもつ「伝える場」を通じて、広く一般の方々に情報を提供し、低炭素社会にふさわしいライフスタイルへの変革を促すことを目標としています。

当事業では、すでに多くの地球温暖化防止推進員の皆さんにもご登録いただいております。

コミュニケーションとして登録された方には、会員ページにて、AR5のセミナー用プログラムや映像など、お役に立てるツールを多数ダウンロード頂ける仕組みとなっております。

新たにスタート致しました平成26年度も、是非本活動にご関心をいただきますようお願いいたします。



記者発表会のフォトセッション。推進員の他、気象予報士の天達さん、酒井さんなども参加



気候変動の、いまを伝える。

IPCC report  
communicator

IPCCリポートコミュニケーターロゴマーク

IPCCリポートコミュニケーター公式サイト <http://funtoshare.env.go.jp/ipcc-report/>

# 雪の中の熱演！低炭素杯2014結果報告

日本全国津々浦々、北は北海道から南は沖縄まで、各地域の多様な主体が個性あふれる様々な活動のプレゼンテーションを通じて発信し、学びあい、連携の輪を広げる“場”として、2月14日、15日に東京ピックサイト国際会議場にて「低炭素杯2014」が開催されました。ファイナリスト40団体、一般来場者等、のべ1,500人が参加して、今年度の日本一が決定いたしました。  
(※ファイナリスト41団体のうち、大雪の影響で1団体が不出場となってしまいました。)

## 環境大臣賞

グランプリ	株式会社ウジエスーパー&株式会社ウジエクリーンサービス(障がい者特例子会社)
金賞(地域活動部門)	協栄産業株式会社 ペットボトル循環推進プロジェクトチーム
金賞(企業活動部門)	株式会社昭和自動車学校
金賞(パートナーシップ部門)	阿南高専 再生可能エネルギー研究会
金賞(学生活動部門)	大分県立玖珠農業高等学校 チーム野菜

## 共催・協賛・協力企業／団体賞

最優秀家庭エコ活動賞【提供：株式会社LIXIL】	一関地球温暖化対策地域協議会
最優秀地域活性化賞【提供：一般財団法人セブン-イレブン記念財団】	鹿児島県立鹿児島水産高等学校
最優秀ストーリー賞(3団体)【提供：株式会社オルタナ】	株式会社シェルター、山形県立東根工業高等学校 味の素株式会社 九州事業所 アグリ事業グループ
最優秀地域エコ活動賞【提供：NPO法人気象キャスターネットワーク】	広島県呉市立長迫小学校 第4学年
最優秀次世代賞【提供：株式会社タカラトミー】	京都府長岡京市立長岡第四小学校

## 一般審査員特別賞

(2団体)【提供：日本マクドナルド株式会社】	鹿島建設株式会社 湯原町旅館協同組合
------------------------	-----------------------

## 企画・審査委員特別賞

最優秀復興イノベーション賞	宮城県農業高等学校科学部復興プロジェクトチーム
最優秀ソーシャルイノベーション賞 (7団体)	岐阜県立加茂農林高等学校 林業工学科 環境班 秋田県立秋田工業高等学校 メカクラブ同好会レーシング班 ファインモータースクール、武田薬品工業株式会社、株式会社ゼロテクノ 有限会社リビング館ホンダ、株式会社ショウエイ

受賞された団体の皆さん、本当におめでとうございました。



低炭素杯2014 環境大臣賞グランプリ受賞  
株式会社ウジエスーパー&株式会社ウジエクリーンサービス(障がい者特例子会社)  
**吉田芳弘さんインタビュー**

### 取組

スーパーから排出され、焼却処分していた食品残渣を有機質肥料化し、その有機質肥料を地元農家が使用し米や野菜を生産、更にその米を原料に地元醸造が純米大吟醸酒や十割麹味噌を製造。それらをプライベートブランドとして販売するループを確立。また、さまざまなどろとタイアップして環境活動が広がっています。そしてその全工程に障がい者雇用を創出し、環境に優しく、地球を元気にするという、みんながHAPPYになる取組です。

### 概要

### グランプリを受賞されたご感想は？

率直に物凄く嬉しいです。この取組が7年目を迎えたのも、ビジネスとして持続可能な形であったということだと思います。多くの方々の助けがあって作りあげたその持続可能性の部分を評価していただけたことが本当に嬉しいです。

### 低炭素杯2014参加されて印象的だったことは？

当日、学校が取り組んでいる事例がたくさん発表され、環境に関心を持った若い世代が増えてきていることを頼もしく感じました。彼らが大人になった時に環境問題に対する世間の評価が様変わりするのではないかと思いました。

### 今後の目標、または、目指されることとは？

我々は、企業としては初めて低炭素杯のグランプリを受賞しました。したがって、この取組を社会に発信していく立場にあると思っています。ただし、奇をてらったことを行うのではなく、凡事徹底の精神で、これからも持続可能なビジネスを続けていきたいと考えています。



# 貸出ツールをご活用ください

全国ネットでは、地球温暖化についてわかりやすく伝え、地球温暖化防止に向けた行動への一歩を踏み出すためのきっかけとなる参加型の学習ツールや教材等の貸出を行っています。地球温暖化の情報を聞きながら温め問題を考え、活動へのきっかけとなるように工夫されたツールを各種ご用意しています。イベント、講座などでぜひご活用ください。

種類：パネルセット、タペストリー、紙しばい、ゲーム、DVDなど  
貸出期間：原則2週間まで

料金：無料（送料のみご負担ください）

詳細はこちら→ <http://www.jccca.org/tool/>

## おすすめツール

### NEW E09 ○○ボックス

たくさんの“ボックス（箱）”を、さまざまな「テーマ」に沿って、並べたり、つなげたり、探したり、ピラミッドのように積み重ねたり、だるま落としのように崩したり…、様々なアクション（動き）で遊びながら地球温暖化問題を考えるツールです。



### リニューアル A04-04 夜の地球～横断幕ミニ～

人気貸出ツール「夜の地球」がリニューアル！2009年の夜の地球の姿を衛星から撮影した最新画像になりました。光っている部分はもちろん、陸地や海の起伏などがより鮮明になっております。また、今回、持ち運びもコンパクトな横断幕ミニサイズ(60×120cm)が追加になりました。

### 編集後記

平成22年8月末、猛暑（温暖化の影響か？）の夏の日のお昼すぎ、陽炎立つ新橋の路上で、約10年ぶりに菊井専務理事にばったり出会ったのがきっかけで、全国ネットに移り、3年半が過ぎました。

この間、うちエコ診断事業の立上げを進めながら、制度設計・構築の難しさと様々な主体との調整であつたという間の3年半でした。

一方で、長谷川理事長、菊井専務理事の強力な推進体制のもと、地域センターのみなさんをはじめ、環境省や関係者の方々の支援と協力を得ながら、飛行機の離陸といえば、全国ネットも滑走を始めたところといった感じでしょうか。（「全国ネット通信」創刊号を参照）

さて、この4月から菊井専務理事から事務局長の引き継ぎを受けまして、これまでの菊井専務理事の辣腕ぶりを横で見て立場としましては、プレッシャーを感じながらも、事務局職員の皆さんと共に、中間支援組織としての機能をさらに高め、低炭素社会の実現に向けて頑張っていきたいと思っております。

「全国ネット通信」も今回をもって14号となります。これまでどおり、みなさまの忌憚のないご意見、ご提案をいただければと思っております。

事務局長 川原 博満

# 平成26年度の事務局体制

平成26年度の全国ネットは、従来の3つのグループに加えて、新たに家庭エコ診断グループが創設され、下図のような事務局体制となりました。

川原新事務局長のもと、職員一同、地球温暖化防止と低炭素社会の構築に向け、邁進していきたいと思います。

新体制となった全国ネットをよろしくお願ひいたします。

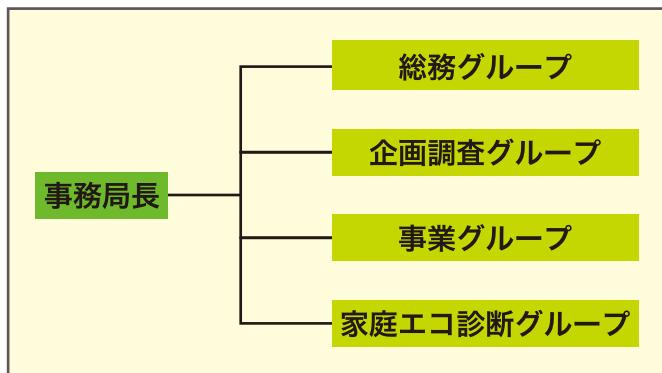


図 平成26年度一般社団法人地球温暖化防止全国ネット事務局体制

エコアナウンサー

### 櫻田彩子のミニコラム

櫻田 彩子 プロフィール

Sakurada Ayako Profile

宮城県出身のエコアナウンサー。

テレビ朝日「ゆうゆう散歩」レポーターほか、

低炭素杯の司会など。



香りが春を告げる、沈丁花。芳しい香りを胸一杯すい込むこの幸せ！

先日、IPCC報告書の執筆者や全国の市民が参加した、IPCC横浜会議記念シンポジウムの司会を担当させて頂きました。そこでは、人間活動による温暖化は疑いようがない事、それによる影響、適応と緩和、そして市民がまだまだ省エネ再エネ等出来ることがあるのではないか、ということが話し合われました。

低炭素杯が終わってからも出場者の方々から伺うのは、全国的な知名度向上はもちろん、地域での再評価により誇りとやる気がUPしている、ということ。その偉大なる草の根活動が、人々を低炭素社会へ導き、温暖化を抑え、季節を感じる心を持ち続けられる希望の源泉であることを声を大にしてお伝えしたいと思います。



季節感は心の栄養



一般社団法人地球温暖化防止全国ネットの活動をサポートしてください！

年会費：個人会員 1口 5,000円(1口以上) 団体会員 1口 20,000円(1口以上)



### 編集・発行



一般社団法人 地球温暖化防止全国ネット(JNCCA)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町1-12-3 第一アマイビル4階

TEL: 03-6273-7785 FAX: 03-5280-8100 <http://www.zenkoku-net.org/>